

**令和4(2022)年度  
足利市一般会計当初予算**

**令和4年2月18日**

**足利市 総合政策部 財政課**

**TEL 0284-20-2106**

# 1 令和4年度当初予算の概要

- ・令和4（2022）年度 足利市一般会計予算は537億円
- ・前年度の当初予算対比で21億円、4.1%の増
- ・歳入予算では、市税が前年度対比15億円、8.6%の増を見込む。市債は、普通建設事業費の増により、0.5億円の増
- ・歳出予算では、新型コロナウイルス感染症対応事業のほか、斎場再整備事業、ごみ処理施設等建設事業、消防本部庁舎等建設事業などの増により普通建設事業費が8億円の増

- 令和4年度当初予算額537億円は、平成9年度544.3億円、令和2年度538億円に次ぐ、過去3番目の規模
- 歳入予算は、市税が新型コロナからの回復基調により15億77万5千円の増を見込むほか、地方交付税1.5億円の増や、市債では、臨時財政対策債を7.2億円の減と見込む一方で、事業債は、斎場再整備事業などの大型事業により7.7億円の増を見込んだ。
- 次の100年に向けた第8次総合計画の初年度の年となることから、前期基本計画を具現化するため、実施計画事業として、6分野107事業、約54.9億円を事業化した。
- 令和4年度予算では、市民が誇れるまち足利となるよう、強い足利の復活を目指し、未来志向でチャレンジする下記の8つの重点項目に予算配分した。（上記の実施計画事業を含む。）

## I. 新型コロナウイルス感染症対策や

アフターコロナに向けた施策の推進 約 8.8億円

II. まちの賑わいづくり 約 2.2億円

III. 産業力の向上 約 3.9億円

IV. 移住定住・人口減少対策 約 0.7億円

V. すべての人にやさしいまちづくり 約12.0億円

VI. 公共施設の再編、長寿命化等 約12.2億円

VII. 安全で安心なまちづくり 約 2.8億円

VIII. 自治体DX 約 0.2億円

## 2 当初予算額の状況

表 1

単位：千円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初 予算額	52,700,000	52,900,000	53,800,000	51,600,000	53,700,000
増減額	+ 100,000	+ 200,000	+ 900,000	△ 2,200,000	+ 2,100,000

## 3 主な歳入予算の状況

表 2

単位：千円・%

款	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
10 市税	18,994,928	17,494,153	+ 1,500,775	+ 8.6
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
27 地方特例交付金	130,550	1,106,885	△ 976,335	△ 88.2
30 地方交付税	5,750,000	5,600,000	+ 150,000	+ 2.7
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
50 国庫支出金	8,711,597	7,741,407	+ 970,190	+ 12.5
55 県支出金	4,573,465	4,250,253	+ 323,212	+ 7.6
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
70 繰入金	1,183,653	1,332,261	△ 148,608	△ 11.2
85 市債	4,221,200	4,172,300	+ 48,900	+ 1.2
合 計	53,700,000	51,600,000	+ 2,100,000	+ 4.1

### <10 款 市税>

表 3 主な税目

単位：千円・%

税 目	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	
市民税	個人市民税	7,114,592	6,909,745	+ 204,847	+3.0
	法人市民税	1,080,218	899,959	+ 180,259	+20.0
	計	8,194,810	7,809,704	+ 385,106	+4.9
固定資産税	8,143,567	7,220,188	+ 923,379	+12.8	

(内容)

(個人市民税)

所得割の増により 204,847 千円、3.0%の増を見込む

(法人市民税)

事業所得の回復などから 180,259 千円、20.0%の増を見込む

(固定資産税)

国のコロナ対策終了などから 923,379 千円、12.8%の増を見込む

### <27 款 地方特例交付金>

- ・固定資産税・都市計画税や軽自動車税環境性能割の軽減措置の終了に伴う新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減により 976,335 千円の減を見込む

### <30 款 地方交付税>

- ・地方財政計画やこれまでの普通交付税の交付実績等をもとに、1.5 億円、2.7%の増を見込む

### <50 款 国庫支出金>

- ・新型コロナのワクチン接種関連補助金が 6.2 億円の増となる一方で、個人番号カード交付事業費補助金の 1.1 億円の減などを見込む。

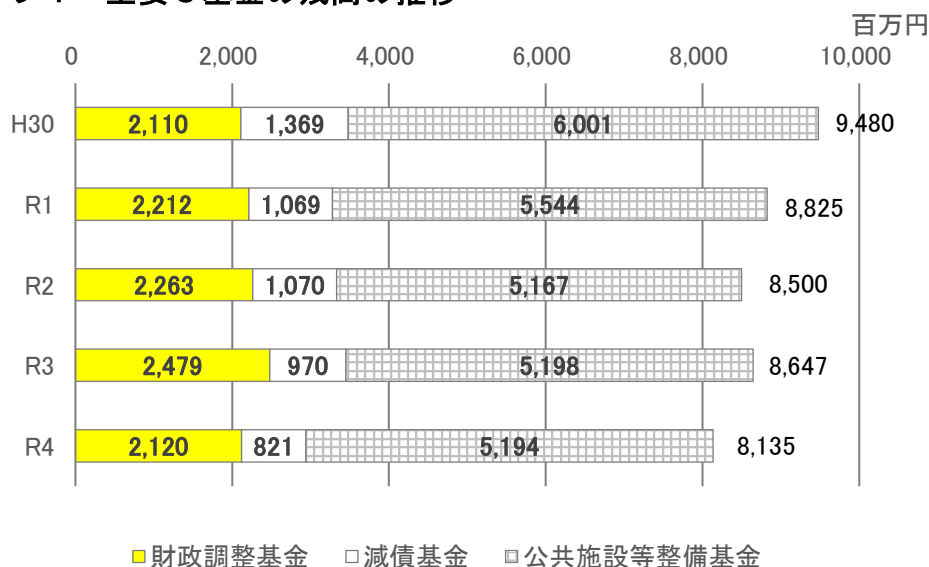
### <55 款 県支出金>

- ・とちぎ国体会場地市町運営交付金 1.2 億円や参議院議員通常選挙執行費委託金 0.5 億円の増などを見込む

### <70 款 繰入金>

- ・市税や地方交付税の増などから、財政調整基金繰入金は 3.6 億円で 0.4 億円の減、減債基金繰入金は 1.5 億円で 1.5 億円の減により計上

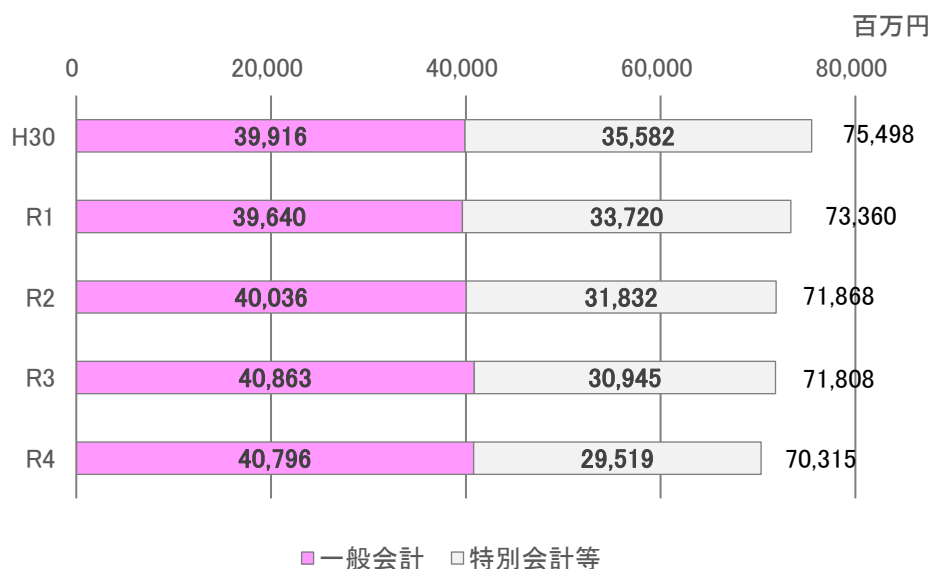
グラフ 1 主要 3 基金の残高の推移



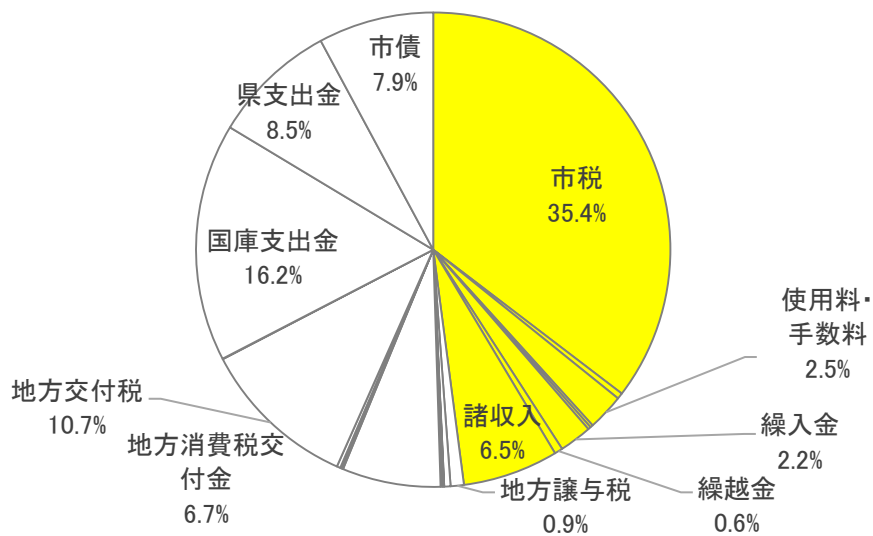
### <85 款 市債>

- ・臨時財政対策債は 15.5 億円で 31.7%の減とした一方、大型公共施設の更新による事業債（斎場+2.1 億円、ごみ処理施設+1.4 億円、消防庁舎+3.2 億円）の増により、全体では 42.2 億円、0.5 億円の増を見込む

グラフ2 市債残高の推移



グラフ3 一般会計 歳入



## 4 主な歳出予算の状況

表4 主な性質別の予算

単位：千円・%

	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
人件費	9,974,266	9,991,022	△ 16,756	△ 0.2
：	：	：	：	：
扶助費	13,921,953	13,775,723	+ 146,230	+ 1.1
：	：	：	：	：
普通建設事業費	3,994,024	3,184,237	+ 809,787	+ 25.4
：	：	：	：	：
繰出金	6,430,887	6,266,588	+ 164,299	+ 2.6
公債費	4,434,604	4,461,054	△ 26,450	△ 0.6
合計	53,700,000	51,600,000	+ 2,100,000	+ 4.1

### <人件費>

期末手当支給月数の減（△0.15月）など16,756千円、0.2%減を見込み計上

### <扶助費>

こども医療費助成費の高校生までの対象年齢拡大（+47,000千円）や重度心身障害者医療費助成費の自己負担分（500円）補助制度導入（+6,777千円）などにより146,230千円、1.1%増を見込み計上

### <普通建設事業費>

斎場再整備事業費（+249,473千円）、新焼却施設等建設事業費（+85,613千円）、農業研修センター解体事業費（+105,000千円）、消防本部庁舎付帯施設建設工事費（+324,690千円）、民間保育所等施設整備補助金（+223,573千円）などにより809,787千円、25.4%の増を見込み計上

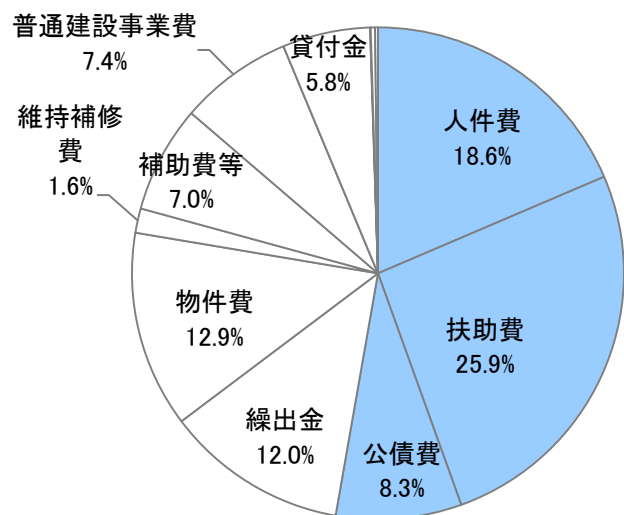
### <繰出金>

国民健康保険特別会計繰出金（+18,566千円）や介護保険特別会計繰出金（+79,209千円）などにより164,299千円、2.6%増を見込み計上

### <公債費>

公債費は、償還元金4,288,680千円、償還利子145,924千円を計上

グラフ4 一般会計 歳出(性質別)



## ◇未来志向でチャレンジする8つの重点項目◇

### I. 新型コロナウイルス感染症対策・アフターコロナに向けた 施策の推進 約8.8億円

#### 【主な事業】

- 1 新型コロナウイルス感染症対策 732,455千円
  - ▶ワクチン接種事業費 620,114千円  
3回目の接種のほか未接種者への1、2回目接種
  - ▶インフルエンザ予防接種助成事業費 19,745千円  
感染症とインフルエンザの同時流行の抑制、6か月児から高校生まで  
1回1,000円助成
  - ▶融資預託ほか 92,596千円  
長期災害対策資金（1,000万円）、短期災害対策資金（200万円）  
新規100件分、4億4千万円の融資枠、保証料全額補助、全額利子補給（短期のみ）
  
- 2 (新) IT関連企業等誘致事業費 10,000千円  
移転経費、備品購入費等のほか、社員移住に対し補助金を交付
  
- 3 (新) 創業ステップアップ支援事業費 2,500千円  
創業後、早期の事業安定化を支援し、今後の市の産業を担う事業者の創出を図る  
創業間もない方を対象に「専門家相談」、「販路開拓」等に関する費用を助成  
(補助率1/2、上限10万円、1事業者1回)
  
- 4 (新) グループチャレンジ応援事業 2,500千円  
市内事業者がグループでチャレンジする事業を支援し、地域におけるビジネスの  
拡大及び市内経済の活性化を図る(補助率1/2、上限50万円)

### II. まちの賑わいづくり 約2.2億円

#### 【主な事業】

- 1 (新) 「足利氏のふるさと」ツーリズム観光誘客促進事業費 10,000千円  
「足利氏」をテーマに、モデルコースの作成や教育旅行の誘致等、効果的な観光PR  
を実施

**2 着物・甲冑によるまち歩き推進事業費 450 千円**  
 着物、甲冑の充実を図り、着付け体験を取り入れた着地型観光を推進

**3 (新) サイクルツーリズム推進事業費 2,000 千円**  
 自転車を活用して地域振興を図るため、案内看板や自転車ラックの設置などサイクリストの受入環境を整備

**4 里山活性化事業費 6,043 千円**  
 名草地区の農産物を活用した加工品開発研究、自然環境を活かした持続可能な地域づくり補助金（キャンプ場運営・農業体験）、宇都宮大学との共同研究を実施  
 令和3年度は、あしかが輝き大使・薮崎友宏シェフが名草の生姜を使った薬膳火鍋を開発。ふるさと納税の返礼品にもなっており、好評を得ている。

**5 松田川ダムふれあい広場指定管理料 7,000 千円**  
 利便性向上、誘客促進を図るため、アウトドア施設の運営ノウハウを持つ民間事業者に管理運営を委託

**6 (新) アート普及啓発事業費 2,876 千円**  
 一般財団法人おもい・つむぎ財団の協力や市立美術館の所蔵品を活用した特別展開催によるまちなか活性化事業を実施  
 ・次代の文化、芸術の担い手である子どもたちが、アートにふれる機会を創出する  
 ・市立美術館を中心とした賑わいの創出

**7 (新) 日本遺産シンポジウム事業費 666 千円**  
 令和3年に行った桐生市、館林市との「日本遺産両毛3市連携共同宣言」を受け、日本遺産を通したまちづくりや観光振興を図るため、日本遺産シンポジウムを開催

共同宣言市	ス ト ー リ ー
足利市	近世日本の教育遺産群 -学ぶ心・礼節の本源- 認定年月日) 平成 27 年 4 月 24 日
桐生市	かかあ天下 -ぐんまの絹物語- 認定年月日) 平成 27 年 4 月 24 日
館林市	里沼(SATO-NUMA) -「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼 辺文化- 認定年月日) 令和元年 5 月 20 日

**8 (仮称) 足利スマート I C 関連事業費 77,000 千円**  
 国の準備段階調査着手箇所に採択され、事業化に向け測量や地質調査等を実施



### Ⅲ. 産業力の向上 約 3.9 億円

- 1 (拡) 中小企業基盤強化事業費 15,626 千円  
ISO等認証取得補助(補助率1/3、上限50万円)及び人材育成支援補助(補助率1/3、上限10万円)を創設し、国内外への競争力強化や事業継続力の強化等を図る
- 2 (新) 国際戦略事業費 1,000 千円  
本市が誇る産業や5Sを切り口に海外との連携強化を図るため、これらの海外におけるポテンシャルの調査を実施
- 3 (新) 次期産業団地調査費 4,500 千円  
(仮称) あがた駅北産業団地に続く次期産業団地の候補地を検討
- 4 (新) 企業誘致活動事業費 1,244 千円  
(仮称) あがた駅北産業団地への企業誘致のため、情報収集及びPR活動を積極的に展開
- 5 (仮称) あがた駅北産業団地開発事業費 363,000 千円  
あがた駅北側の産業団地開発を進め、新たな雇用の場を創出

### Ⅳ. 移住定住・人口減少対策 約 0.7 億円

- 1 (新) 東武足利市駅内への移住定住相談支援拠点の移設 2,394 千円  
移住定住のより相談しやすい環境整備のため、旧観光案内所の改修を実施
- 2 (新) 結婚支援事業費 8,936 千円  
結婚相談支援業務委託の実施のほか、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる引越費用などの経費に対し補助金を交付  
(世帯所得400万円未満で、夫婦とも29歳以下⇒60万円を補助・30歳以上39歳以下⇒30万円を補助)
- 3 移住・定住促進事業費 15,869 千円  
国の制度を活用し、世帯移住100万円、単身移住60万円の移住支援金を支給
- 4 (新) 移住支援員及び集落支援員の登用 15,595 千円  
・移住支援員による移住希望者に対する相談支援や移住促進に向けた情報発信などを実

施

- ・集落支援員が地域住民と連携しながら、地域資源を活かし、集落の活性化に向けた取り組みを実施

## 5 春日市営住宅跡地整備事業費 32,200 千円

春日市営住宅の跡地活用として、子育て世帯の移住・定住を促進する民間事業者による宅地分譲を行うもので、周辺道路工事等を実施

(参考) 移住者等が利用できる可能性がある、その他の補助金

### ▶ 空き家バンク改修費補助金

空き家・空き地バンク制度により、空き家を取得した移住者に対して、改修費用の一部を補助するもの(上限 50 万円)

### ▶ 耐震建替補助金・耐震改修補助金

一定の要件を満たした耐震性のない住宅の建て替えや改修に、費用の一部を補助するもの(上限 100 万円)

## V. すべての人にやさしいまちづくり 約 12.0 億円

### 1 (拡) こども医療費助成費 504,467 千円

#### ▶ 事業費 490,000 千円

10 月から、こども医療費の窓口無償化を高校生(約 3,900 人)まで拡大  
拡大分の助成に係る事業費は、約 47,000 千円

#### ▶ 事務費 14,467 千円

### 2 (拡) 重度心身障害者医療助成費 257,777 千円

#### ▶ 医療助成費 251,000 千円

令和 4 年度から精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者も対象に加え、重度の障がい者の医療費を助成するもので、拡大分の事業費は約 41,000 千円

#### ▶ 自己負担分助成 6,777 千円

自己負担分(1 医療機関あたり 500 円/月)の助成

### 3 (拡) 発達支援保育事業費 32,705 千円

#### ▶ すこやか保育補助事業費 32,400 千円

発達に遅れ等がある児童の保育のために保育士を加配する保育施設に対して、補助額を月額 65,000 円から 75,000 円に引き上げて支援

#### ▶ 医療的ケア児保育事業費 305 千円

医療的ケアが必要な児童の受入れに向けた体制整備のため、検討会の設置やガイドラインを作成

- 4** (拡) 放課後児童健全育成事業費 376,376 千円  
▶民間クラブの運営委託等 357,643 千円  
民間クラブの運営委託や補助金の交付  
▶施設整備費 18,733 千円  
北郷小児童クラブの校舎内への移転に必要な整備を実施
- 5** (新) 後期高齢者歯科健診事業費 2,336 千円  
オーラルフレイル予防のため、後期高齢者を対象に実施
- 6** (新) 成年後見制度利用促進等事業費 7,230 千円  
成年後見制度の周知・相談対応をはじめ、権利擁護支援のコーディネートを担う中核機関を設置し、制度の利用促進を図る
- 7** (新) がん患者支援推進事業費 2,634 千円  
医療用ウィッグ及び乳房補整具購入のほか、医学的知見に基づき、回復の見込みがないと判断された 18 歳から 40 歳未満の方の在宅ターミナルケア費用の一部を助成
- ・医療用ウィッグ 上限 3 万円×50 件 補助率 9/10
  - ・乳房補整具 上限 2 万円×15 件 補助率 9/10
  - ・在宅ターミナルケア 上限 6 万円×3 件×4 か月 補助率 9/10
- 8** (新) 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種 18,264 千円  
▶接種費 17,815 千円  
令和 3 年 11 月から子宮頸がんワクチンの積極勧奨が再開されたことを受け、平成 9 年度から 17 年度生まれの女子で、積極勧奨が差し控えられていたことにより、接種機会を逃した可能性のある約 4,100 人のうち、希望者に対し無償での接種を実施  
▶事務費 449 千円

## VI. 公共施設の再編、長寿命化等 約 12.2 億円

- 1** 市民会館等整備事業費 709 千円  
市民検討委員会や市民ワークショップの開催経費など
- 2** 斎場再整備事業費 329,441 千円  
・仮設斎場の建設及び既存建屋の解体など 279,946 千円

- ・助戸新山公園整備、下水道工事など 45,931 千円
- ・仮設斎場への移転経費 3,564 千円

**3** **ごみ処理施設等建設事業費 358,496 千円**

- ・建設地造成工事及び調整池建設工事 200,100 千円
- ・農業研修センター解体工事 105,000 千円
- ・事業者選定支援業務委託、電柱移転補償等 53,396 千円

**4** **(新) 東部クリーンセンター長寿命化工事 68,444 千円**

竣工から 29 年が経過し、劣化や老朽化の激しい設備を部分的に更新し、今後 20 年の延命化を図る

**5** **(新) 林業振興センター解体撤去事業費 13,000 千円**

老朽化により平成 30 年度に廃止した旧巨石荘の解体撤去

**6** **消防本部庁舎等建設事業費 324,690 千円**

訓練塔、車庫、資機材庫等の整備であり、新消防本部庁舎建設関連の最終年度全体事業費 約 1,650,000 千円（関連工事含む）

**7** **(新) スポーツ施設の長寿命化 125,780 千円**

- ▶総合運動場プール改修事業費 60,000 千円  
25m プール改修工事（令和 3 年度実施）に引き続き、50m プールを改修しスポーツ環境を整備
- ▶渡良瀬運動場テニスコート改修事業費 65,780 千円  
御厨テニスコートの廃止に伴い、代替施設の整備として渡良瀬運動場テニスコートを改修

## **Ⅶ. 安全で安心なまちづくり 約 2.8 億円**

**1** **地域防災力の向上、危機管理体制の強化 3,196 千円**

- ▶自主防災会育成強化事業費 1,137 千円  
自主防災会による地区防災計画の策定、及び防災訓練を支援するための補助金を交付
- ▶(新) 地域防災活動保険事業費 1,000 千円  
市民による災害時の防災活動中の事故に備えるため、補償制度を創設
- ▶(新) 防災情報発信体制強化事業費 1,059 千円  
災害時において、避難情報等の防災情報を地域に電話で一斉配信するシステムを導入

- 2 (新) 宅地耐震化推進事業費 20,000 千円**  
大規模盛土造成地（2か所）の地質調査を実施
- 3 通学路安全対策 106,000 千円**  
児童が安全に通学できる道路を、国の補助を導入するなどして整備  
（江川利保通り・五十部町4号線・樺崎田沼通り など）
- 4 中橋整備関連まちづくり事業費 10,120 千円**  
中橋架け替えに伴う県負担金など
- 5 (新) 分団詰所建設事業費 59,601 千円**  
老朽化した第13分団詰所（筑波地区、昭和53年築）の建替え工事
- 6 (新) 消防自動車等整備事業費 86,012 千円**  
平成13年購入の中央消防署化学車の更新

## Ⅷ. 自治体DX 約0.2億円

- 1 (新) デジタル戦略推進事業費 5,600 千円**  
足利市デジタル戦略推進本部の組織に位置付けるCIO補佐官として、専門的なノウハウや知識を有する外部人材を選定し、足利市デジタル戦略の策定や行政手続きのオンライン化の検討等、行政のデジタル化を推進
- 2 (拡) ICT推進事業費 10,689 千円**

  - ▶行政ICT化推進事業費 7,018 千円  
RPAやAI-OCR、リモート会議の活用をはじめ、財務会計システムの電子決裁化へ向けた実証導入（新）や議事録作成支援システムを導入（新）し、業務を効率化
  - ▶市民サービスICT化推進事業費 3,671 千円  
市民とのコミュニケーションや情報提供の手段とするLINEの活用、学習の場の確保等として公衆無線LANサービスの提供

**3 (拡) キャッシュレス決済の推進 3,643 千円**

公金（一部）のキャッシュレス決済を拡大するもの

公金の種類	現在の納付方法	R4以降の納付方法
市民税（普通徴収）	現金（窓口、コンビニ） 口座振替 スマホアプリ(30万円未満)	左記に加えて、 クレジットカード決済(30万円未満)
固定資産税		
都市計画税		
軽自動車税（種別割）		
国保税（普通徴収）		
証明手数料（※）	現金	左記に加えて、 電子マネー スマホアプリ決済 クレジットカード決済
史跡足利学校参観料	現金、 電子マネー	左記に加えて、 スマホアプリ決済
市立美術館観覧料	現金	左記に加えて、 スマホアプリ決済

※市民課及び行政サービスセンターのセミセルフレジにキャッシュレス決済機能を追加（新）

## 歳入増への取組み（歳入 約1.1億円）

**1 (拡) ふるさと納税制度への取組み強化 104,000 千円**

返礼品拡充などの取組みによるふるさと納税収入確保（個人1億円、企業版400万円）  
（ふるさと足利応援寄附金事業費 51,072 千円）

**2 (新) ネーミングライツの導入 5,500 千円**

ネーミングライツ収入 市民体育館等 11 施設